

令和 年 月 日

保護者 様

インフルエンザによる出席停止の通知書

沼田市立沼田南中学校

校長 根岸 浩文

お子さんは、インフルエンザのため、学校保健安全法第19条により、他の人に感染させる恐れのある期間は出席停止とします。インフルエンザの出席停止期間の基準は下記のとおりです。

＜インフルエンザの出席停止期間の基準＞
「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで。」

インフルエンザと診断を受けた場合は、十分療養し、回復してから登校するようにしてください。また、登校にあたっては、医師の指導のもと、保護者の方が下記の「インフルエンザにおける療養報告書」を記入し、学校へ提出をお願いします。（なお、医師の診断により5日を経過せず登校が可能となった場合は、治癒証明書の提出が必要となります。）

.....

保護者が記入

学校長 様

インフルエンザにおける療養報告書

年 組 氏名 _____

1 診断を受けた医療機関： _____

2 診断日：令和 年 月 日（診断型：A型 B型 不明） ※いずれかに○をつけてください。

3 登校再開日：令和 年 月 日

（登校再開には下記の出席停止期間の基準1と2の両方を満たす必要があります。）

※下記に「発症日」と「解熱した日」を記入してください。

出席停止期間の基準	
1	発熱等の症状が出た日（発症日）を0日とし、翌日から数えて5日を経過している。 ⇒ 発症日： 月 日
2	解熱した日を0日とし、翌日から数えて2日（幼児にあっては3日）を経過している。 ⇒ 解熱した日： 月 日

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

保護者氏名 _____ 印

令和 年 月 日

保護者様

(学年 組 氏名)

学校名 沼田市立沼田南中学校

校長名 根岸 浩文

学校で予防すべき感染症と出席停止について

次の表にあげた病気にかかっている場合、他の児童生徒に感染するおそれがありますので、学校保健安全法施行規則により、病気が治るまで本人の出席を停止するように定められています。なお、感染予防のため、校長の指示で出席停止となった場合は、欠席扱いになりません。

病気が治り、他に感染するおそれなくなり登校する場合は、右の医師の「証明書」をいただいて学校に提出してください。

主治医様

ご多忙中恐れいますが、下記証明書は出席可能になりましたら、ご記入のうえ保護者にお渡しください。

証明書

(主治医→保護者→学校)

沼田市立沼田南中学校
出席停止の期間の基準

学校で予防すべき感染症の種類		出席停止の期間
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体が SARS コロナウイルスに限る）、鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルス A (H5N1) であるものに限る） * 感染症法に規定する「新型インフルエンザ等感染症」「指定感染症」「新感染症」は第1種の感染症 とみなす	病気が治って、学校医等の許可があるまで
第2種	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあつては、3日）を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで解熱した後3日を経過するまで
	麻疹（はしか）	
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん（三日はしか）	発しんが消失するまで
	水痘（みずぼうそう）	すべての発しんがかさぶたになるまで主に症状がとれてから2日を経過するまで
	咽頭結膜熱	
第3種	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医等において感染のおそれがないと認めるまで
	コレラ、細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症、大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症	

◎上記の表は基準であつて、医師の証明があればこの限りではありません。

◎群馬県では、第3種「その他の感染症」については定めないとしています。

学年 組 氏名

病名（ ）

上記の者は 月 日 より出席停止となつていましたが、病気が治り、他に感染するおそれなくなつたので 月 日

から出席してよいと考えます。

備考

令和 年 月 日

医師名 印